



令和5年度 学校だより
北醍醐9月号
 <学校評価アンケート結果特別号>



令和5年9月1日
 京都市立北醍醐小学校
 校長 山本 太郎
 TEL : 075-572-5353

令和5年度第1回「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。結果をご報告いたします。

児童、保護者、教職員へのアンケート11項目を集計し、「よくできている」「大体できている」を合わせて実現度>として示させていただきます。

R5 第1回「学校評価アンケート」結果

児童	実現度	保護者	実現度	教職員	実現度
①学校に行くのは楽しい。	93.3%	①お子さんは、安心して楽しく学校に通っている。	95.8%	①「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	91.7%
②友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。	89.3%	②お子さんは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。	93.7%	②互いを大切にする子どもの育成を目指し、「～さんで呼ぶ」「正しい言葉遣い」等を指導し、児童の身についてきている。	84.6%
③自分からあいさつしている。	86.7%	③お子さんは、家や地域で進んであいさつしている。	78.2%	③進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもは意欲的に活動するようになってきている。	92.3%
④困ったときや分からないときは、先生に相談している。	85.3%	④学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。	90.1%	④子どもや保護者の相談に適切に応じられている。	91.7%
⑤授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	86.7%	⑤お子さんからは、授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。	81.0%	⑤ねらいを明確にし、教える事と児童が主体的に活動する事を計画し、児童の身についてきている。	90.9%
⑥学校や家で、自分から読書している。	78.0%	⑥お子さんは、読書に親しんでいる。	67.6%	⑥読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動をするようになってきている。	91.7%
⑦家で学年に合った家庭学習をしている。（1年生15分、2年生30分、3年生45分、4年生60分、5・6年生60分～90分）	78.0%	⑦お子さんは、「15分×学年（5・6年生は60分～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣が身についている。	72.5%	⑦授業と家庭学習を連動させた課題や、読書活動を位置づけた家庭学習の充実に取り組んでいる。	90.9%
⑧学校のきまりや交通のルールを守っている。	94.7%	⑧お子さんは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。	90.8%	⑧きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着してきている。	83.3%
⑨毎日、決まった時間に早起きをし、顔をあらって歯みがきをし、朝ごはんを食べて登校している。	89.3%	⑨お子さんは、十分な睡眠をとり、早起き、洗顔、歯みがきをし、朝ごはんを食べるなど基本的な生活習慣が身についている。	92.3%	⑨基本的習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身についてきている。	90.9%
⑩学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	95.3%	⑩学校は、安全部における適切な配慮をしている。	96.5%	⑩ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や、社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着してきている。	81.8%
⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。	92.7%	⑪お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。	94.4%	⑪児童は、縦割り活動を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりしている。	100.0%

＜アンケート結果から＞

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を進めながらの新学期スタートとなりましたが、5月には5類に変わり、学校生活や学習の形態は新しい生活様式に合わせて変化しています。子どもたちの学校生活も大きく変化してきている中ではありますが、児童のアンケート結果を見てみると昨年度よりも上回っている項目が多くみられました。



たとえば「①学校に行くのは楽しい。」「④困ったときやわからないときは、先生に相談している。」などの項目の結果からは、学校が安心して過ごせる場であり、友達がいることや困ったことがあれば助けを求めることができる、といったところから安心して学校生活を過ごす北醍醐小学校の子どもたちの姿を見ることができます。

また、これまで課題点として挙げられてきた読書を問う項目でしたが、児童の項目である「⑥学校や家で自分から読書している。」では、一昨年度から昨年度とここ2年間少しずつ上昇傾向の結果が見られます。学校での読書の時間の確保や毎週金曜日の子うま文庫さんによる読み聞かせ、図書室の環境整理、図書委員会の取組など、読書への関心が高まる取組を継続してきた成果でもあります。引き続き、読書への興味関心が高まる取組や児童が主体的に活動を進めている委員会活動、いつでも本が手に取れる環境整備などの充実をさせていきたいと考えています。ご家庭におかれましても、それぞれの発達段階に応じた読書への興味づけや環境づくりを引き続きお願ひいたします。



保護者の「④学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。」の項目においては、90.1%の実現度が見られ、昨年度より上回る結果となりました。各学級では、子どもに寄り添い、子どもの声や様子に耳と心を傾け、子ども一人一人を徹底的に大切にする学級づくり、さらには学校づくりを目指しています。学校目標である「仲間と未来を創造し自ら学ぶ子どもを育てる」ために、一人一人が大切にされる学校風土づくりを教職員一同、取り組んでまいります。

＜自由記述欄より＞（※紙面の都合上、いただいたご意見の一部を抜粋して掲載しています。）

保護者の皆様から頂きましたアンケート自由記述欄からは、学校の取組への感謝の言葉をいただく一方で、学校での危機対応への取組や安全面について、また、子ども達の言動で気になる点などのご意見をいただきました。

安全に関する取り組みとしては、学期ごとに火災、地震への避難訓練と合わせて全校での防犯避難訓練を実施しています。いつ、どこで、何が起こるかわからない状況の中で、正しく判断、行動できるように繰り返し訓練を続けていきたいと思います。さらに年度初めや長期休業中には、教職員を対象とした事故対応への実地訓練も実施しております。また、運動場側の門（青門）が低学年の下校以降、開いたままになっていることについてのご心配の意見をいただきました。今後は、低学年が下校後、一度門を閉めることで、長い時間、門が開いていることがないようにしたいと思います。子ども達には不便をかけますが、安心・安全な環境を作ることを最優先に取り組みを進めたいと思います。

本校は、異学年が仲良く活動する縦割り教育活動を重視しております。その中でどうしても言葉遣いが気になる場面を目にします。その都度、指導をしていきますが、目上の人との接し方や正しい言葉使いは学校だけではなくご家庭や地域の中でも育っていく必要性を感じています。お家でも気になる場面がありましたらその場での指導をお願いいたします。

また、PTAに対するご意見もいただきました。ご意見については、真摯に受け止め、本部の皆様と共有しながら改善を含め今後も検討を続けていきたいと思います。